

75 土を使わずミスト散水でさし穂を 発根させる手法「エアざし®」



WebA°-ジ°

技術のポイント

スギのさし木によるコンテナ苗生産は、さし穂を土にさし付けて発根後にコンテナへ移植するため、土を扱う重筋作業を伴います。九州育種場は共同研究機関と協力し、スギのさし穂を土にさすことなく、空气中に露出するように立て、定期的にミスト散水することによって発根させる「エアざし®」を開発しました。この手法により、従来のさし付け用の土の準備や掘り取り作業が不要となり、作業効率の向上が期待されます。

連携・橋渡しの方向

エアざし®(特許番号:第6709449、発明の名称:さし穂の発根装置、特許取得日:令和2年5月27日)を活用した、スギのさし木コンテナ苗生産の実施を希望する事業者との連携を希望します。

詳細情報

- ・マニュアル：用土を用いない空中さし木法によるスギさし木コンテナ苗生産マニュアル
https://www.ffpri.affrc.go.jp/kyuiku/research/syukai/documents/210405_ver1_1-.pdf
- ・リーフレット：
https://www.ffpri.affrc.go.jp/kyuiku/research/syukai/documents/eazasi_rmark.pdf
- ・特許：特許第6709449号 さし穂の発根装置
- ・論文等：森林遺伝育種 10(4), 202-207 (2021)、九州森林研究 73, 57-61 (2020)

担当者

林木育種センター九州育種場・栗田 学

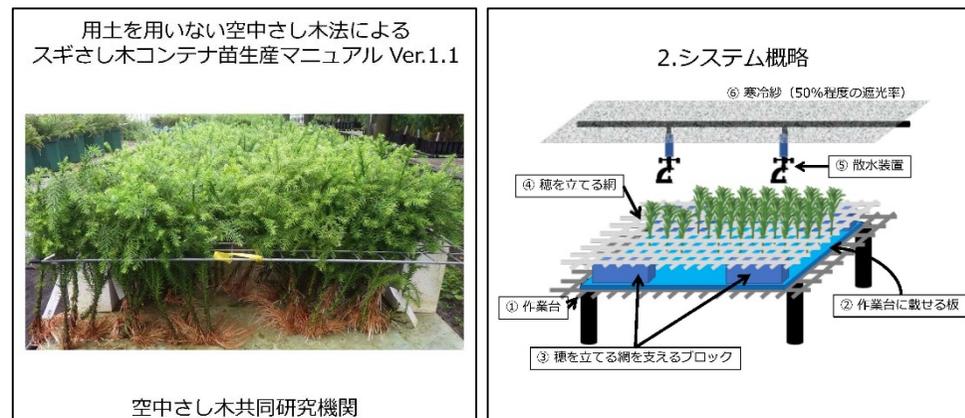


図1 マニュアルの表紙と内容の一部抜粋

用土を用いない空中さし木法によるスギさし木コンテナ苗生産マニュアル Ver.1.1.の表紙(左)と、マニュアルに記載のエアざしシステムの概略図(右)。

謝辞

本研究の一部は、生研支援センターイノベーション創出強化研究推進事業・開発研究ステージ「30028C 用土を用いない空中さし木法による、コスト3割削減で2倍の生産量を実現するスギさし木苗生産方法の確立」(H30～R2)により実施しました。

森林産業実用化カタログ2025



お問合せ先

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所
社会実装推進・知財戦略室

E-mail: sangaku@ffpri.affrc.go.jp

URL: <https://www.ffpri.affrc.go.jp/sangakukan/index.html>